

## 「新しい多摩の振興プラン（仮称）」素案に関する意見募集の結果について

### 1 意見募集期間

令和3年5月25日（火曜日）から同年6月25日（金曜日）まで

### 2 意見提出の状況

(1) 提出された方の総数 18名

(2) 提出意見の総数 29件

### 3 御意見の概要と都の考え方

御意見の概要	都の考え方
<p>新型コロナウイルス感染症の影響で23区における住環境が住みにくい状況が続いている。こうした中で、多摩地域に移住する都民が増えている。</p> <p>移住者振興や、地域活性化を見据えた計画にすべきであるが、東京都はどのように進むか。</p>	<p>本プランでは、新たな時代にふさわしい働き方で身近で快適な生活を実現していくことや、リアルとオンライン双方の強みを活かし地域コミュニティを活性化していくことなどを方向性として掲げています。</p> <p>具体的には、新しい働き方を浸透させる取組として、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの設置補助、地域コミュニティの活性化の取組として、地域の底力発展事業による世代間交流イベント等の取組に対する助成などを盛り込んでいます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>西武新宿線等の連続立体交差事業については、引き続き推進していく必要がある。開かずの踏切がまだ残っている。人口密度、乗客数に合わせた立体交差事業の推進をしていく必要があるが、東京都の財政が厳しい状況が続く中、どのように東京都は推進していくのか。</p>	<p>連続立体交差事業は、2021年3月に策定した『『未来の東京』戦略』の施策に位置づけ、厳しい財政環境の中にあっても着実に推進していくこととしております。</p> <p>本プランでは、連続立体交差事業の推進を盛り込んでおり、西武新宿線（東村山駅付近）などの連続立体交差化により、幹線道路との立体交差や踏切の除却を推進し、道路ネットワークの形成を促進するとともに、交通渋滞の解消や鉄道により分断されているまちの一体化を図っていきます。</p> <p>頂いた御意見を参考に、記載内容を追加しました。</p>
御意見の概要	都の考え方

<p>サイクリングについては東京都自転車安全推進計画等の個別計画に沿いながら都庁全体が一体となって、観光の推進をしていく必要がある。また、コロナ禍でソーシャルディスタンスやマスク着用、三密を避けて観光を楽しむ計画を作るべきである。</p>	<p>本プランでは、取組の方向性の中で、人が自転車を楽しみ、身近に緑を感じ、居心地よく歩きたくなるまちづくりを進めることを記載しています。</p> <p>具体的には、自転車の利用環境整備として、自転車通行空間の整備や自転車活用推進重点地区の設定などの取組を盛り込んでいます。</p> <p>また、コロナ禍では、感染状況を踏まえつつ、地域の特色を活かした観光振興を進めていきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>地域活性化や観光はもちろんだが、農業振興、林業振興等の必要があり、若年代の育成によって東京を担う世代として区市町村の連携のもと、計画に合わせた環境整備にしていただきたい。</p>	<p>本プランでは、地域の特色を活かした農林水産業の振興の取組の中で、都市農業の活性化や林業の産業力の強化などを記載しています。</p> <p>次世代の育成については、東京農業アカデミー事業により、就農からステップアップまでをトータルで支援するとともに、新規就農希望者等への農地の斡旋に市区町村等関係機関と連携して取り組んでいきます。</p> <p>また、東京トレーニングフォレストにおいて、高度な技術者を育成するための研修を実施していきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>多摩地区は東京都であるものの都心からの移動に時間がかかるので、多摩地区と都心を結ぶ高速道路建設は非常に有用なものとする。スキームがないなら構築するところから始めて、ぜひとも都民の暮らしやすさに貢献してほしいと思う。高速練馬線(多摩線)もしくは高規格道路の速やかな整備を望む。</p>	<p>本プランでは、地域の内外を結ぶ道路ネットワークの強化に向けて、幹線道路等の整備を進めていくとともに、三環状道路等の高速道路ネットワークに係る取組を推進していくことを記載しています。多摩地区と都心を結ぶ高速道路建設については、長期的な視点で交通需要等の動向を踏まえながら、採算性や整備手法の検討を進めていく必要があります。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>御意見の概要</p>	<p>都の考え方</p>
<p>多摩の範囲が広く一地域として</p>	<p>都では、多摩地域を対象にした事業や多摩地域全体</p>

<p>の政策が打ちづらいのではないか。</p> <p>また、地域としての特色がなく、自治体間の連携が感じられない。</p>	<p>の魅力をPRする事業を行っております。</p> <p>一方で、一括りに多摩と言っても、地勢、人口動向、土地利用、産業構造など、地域によって特性や課題は様々であるため、地域の実情に応じて取組を進めていくことが重要です。本プランでは、このことを方向性2に掲げて多摩の更なる発展を目指した取組を進めていきます。</p> <p>また、自治体間の連携については、多摩の諸課題に応じて、市町村間で広域的に連携している様々な事例があります。</p> <p>頂いた御意見を参考に、記載内容を追加しました。</p>
<p>多摩振興を進めるためには、長期的な視点の施策が必要ではないか。</p>	<p>本プランは、「未来の東京」戦略3か年のアクションプランや各局の計画等に基づき、3か年で都が実施する取組を中心に多摩に特化した視点で取りまとめたものです。</p> <p>また、各局の計画で2025年度や2030年度などが目標年次となっている事業についても記載しております。2030年に向けた取組の方向性としては、「未来の東京」戦略に基づくプロジェクトの一部を示しております。</p>
<p>西武線の高架化の工事が一日も早く完成して、スムーズになれば車通勤がだいぶ楽になるため、期待している。</p> <p>連続立体交差事業に、東村山駅付近のことが書かれているが、駅も長期間工事をやっているの、完成するとどう変わるのか、便利になるのかを示して欲しい。</p> <p>車で走っているといたるところで道路の工事をしているが、どういう効果があるのか教えて欲しい。多摩が便利になるのであれば我慢もできる。</p>	<p>西武新宿線（東村山駅付近）などの連続立体交差化により、幹線道路との立体交差や踏切の除却を推進し、道路ネットワークの形成を促進するとともに、交通渋滞の解消や鉄道により分断されているまちの一体化を図っていきます。</p> <p>また、地域内の幹線道路については、通学路などに利用される狭い生活道路の抜け道としての利用抑制を図るとともに、地域の安全性や快適性を向上させるため、整備を推進します。</p> <p>頂いた御意見を参考に、記載内容を追加しました。</p>
<p>御意見の概要</p>	<p>都の考え方</p>
<p>多摩地域は、明治初期は神奈川県</p>	<p>将来的なリニア中央新幹線開通に向けて、リニア新</p>

<p>に含まれていた歴史があるので、もっと広域的な視点で物事を考える必要がある。</p> <p>リニア中央新幹線の開通により、東京-名古屋間は40分で移動することができ、もし全線開業が実現すれば、全国で年間1兆5千6百億円の経済効果が生み出されるとも言われている。</p> <p>その効果によって、新駅ができる神奈川県はもちろん、多摩地域も広域的に発展できると考える。</p>	<p>駅（橋本駅付近）へのアクセス向上に資する道路の整備を推進し、東京都と神奈川県を結ぶ新たなネットワークを形成することにより、円滑な交通の確保を図っていきます。また、ネットワーク強化とあわせて、多摩イノベーション交流ゾーンにおいて、地域の強みである大学や産業機能の集積を生かしたまちづくりに市と連携して取り組んでいきます。</p> <p>頂いた御意見を参考に、記載内容を追加しました。</p>
<p>多摩は自然豊かで緑が多くあり、都心へのアクセスが良く、通勤・通学が便利で、子育てがしやすい。</p> <p>一方で、交通インフラについては、東西の交通は発達しているが、南北のアクセスは多摩都市モノレールか南武線しかなく不便だ。また、多摩都市モノレールは良いルートを走行しているが、運賃が高いため、東京湾アクアラインのような低運賃を導入し、南北の移動を活発にすべきである。</p>	<p>本プランでは、多摩地域の主要な骨格幹線道路である多摩南北・東西道路等の完成に向けた整備の推進や多摩都市モノレール延伸に向けた取組を記載しております。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>近年、映画やテレビで有名になった場所が、聖地巡礼として観光客を呼び込んでいる。ドイツ、韓国などの諸外国ではコンテンツ制作費の補助を行い推進している。多摩でも取り組んだらどうか。</p>	<p>本プランには、アニメ等コンテンツを活用した誘客促進事業を盛り込んでおり、アニメ等コンテンツを観光資源として活用した新たな誘客促進に係る地域の取組を支援し、国内外の観光客誘致の促進及び地域活性化を図っていきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>御意見の概要</p>	<p>都の考え方</p>
<p>女性専用車両のように、「大きな</p>	<p>ユニバーサルデザインについては、バリアフリー基</p>

<p>荷物を持った旅行者」、「車椅子の方」、「ベビーカーを持った方」のための専用車両をユニバーサルデザインの視点で設けるべきである。まずは、都営電車から実施してはどうだろう。</p>	<p>本構想等作成費補助により、改正バリアフリー法に基づく移動等円滑化促進方針（マスタープラン）やバリアフリー基本構想における市区町村の取組の支援などを行っております。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>日本では約5,700の美術館・博物館があり、東京都においては1割強の648館が存在している。その美術館・博物館を積極的に観光に活用すべきである。具体的には、開館時間の夜間までの延長やスマホを活用した多言語対応、収蔵品のインターネットによる世界への発信を行うべきである。</p> <p>また、多摩地域には、東村山市の正福寺地蔵堂、調布市の深大寺白鳳仏の2つの国宝が存在し、こうした地域の資源を生かした観光振興が必要である。</p>	<p>本プランでは、地域の魅力を磨き上げ、都民や国内外の旅行者を魅了し続けることを方向性として掲げております。</p> <p>都立美術館・博物館では、夏期夜間の開館時間を延長する「サマーナイトミュージアム」開催等の企画を実施してきました。また、パソコンやスマートフォンからもご利用可能な多言語ガイドブック「TOKYO TO GO ミュージアム&amp;シアターガイド」を発行し、都立文化施設などを紹介するとともに、2021年3月からは収蔵品検索サイト「Tokyo Museum Collection」を日本語及び英語で公開しています。</p> <p>また、地域の特色を活かした観光の振興に向けて、多摩地域ならではの豊かな自然や文化等を活用した観光資源の開発を進めていきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>電子支払い（キャッシュレス決済）システムの導入が遅れているため、都の施設で導入を増やし、観光振興につなげるべきである。</p>	<p>都では、全都立施設のキャッシュレス実現を2025年度の到達目標として掲げております。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>昔から住んでいる人と新たにやり住んできた人が交流できていないので、交流できる街になってほしい。</p>	<p>本プランでは、リアルとオンライン双方の強みを活かし、地域コミュニティを活性化していくことを方向性として掲げております。具体的には、地域コミュニティの活性化の取組として、世代間交流イベントやデジタルデバイト対策につながる活動への助成などを盛り込んでいます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>御意見の概要</p>	<p>都の考え方</p>
<p>緑が多いのが多摩の良いところ</p>	<p>多摩地域には、奥多摩の山々や、高尾山、御岳山、</p>

<p>なので、高層マンションを規制すべきであると思う。高層マンションは居住空間から緑が離れており、空気の流れを遮断するなど、多摩地域には似つかわしくない。</p>	<p>多摩丘陵、狭山丘陵など自然が豊富にありますが、樹林地や農地など身近な緑の減少が続いております。</p> <p>本プランでは、緑の保全を進めるとともに、様々な施策とも連動させながら、身近に緑が溢れるまちづくりを進めていくことを取組の方向性の中で記載しております。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>昔から住んでいる人と新たに転入した人の融合が全くない。また、子・孫の世代が定住しない。昔は小学校に子供も多かったが、今は各学年1クラスしか子供がいない。世代間の継続性が保たれていないのが課題である。</p>	<p>本プランでは、高齢化や世帯の単身化が進む中、安心して暮らせる住環境を確保するとともに、多世代・多文化の人のつながりを創出する取組を進めていくことを取組の方向性の中で記載しております。</p> <p>具体的には、地域の底力発展事業において、町会や自治会の地域活動を推進するため、世代間交流イベント等の取組に対する助成などを行っています。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>シニアの男性が参加し、活躍できる地域コミュニティの場が少なく感じる。</p>	<p>本プランでは、高齢化や世帯の単身化が進む中、安心して暮らせる住環境を確保するとともに、多世代・多文化の人のつながりを創出する取組を進めていくことを取組の方向性の中で記載しております。</p> <p>具体的には、様々な形での居場所の創出に向けて、東京みんなでサロンやコミュニティサロン（集会所）を活用した「居場所」づくりなどの取組を盛り込んでおります。また、趣味や特技を活かし、地域への参加を促進する「東京都シニア・コミュニティ交流大会」や、シニア層に学びと交流の場を提供する「東京都立大学プレミアム・カレッジ」の取組を盛り込んでおります。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>御意見の概要</p>	<p>都の考え方</p>

<p>多摩ニュータウンは住環境が良く、道路も広く生活しやすい。住むには良いところだが、身近に働ける場所が少ない。保育園に子供を預けて都心に通うのではなく、多摩地域の中で快適に通勤できる場所があればもっと人が集まると思う。</p>	<p>本プランでは、企業立地としてのポテンシャルを活かし、企業を惹きつけていくことや多摩を世界有数のイノベーション先進エリアへ発展させていくことを取組の方向性の中で記載しております。</p> <p>また、多様な働き方を実現する環境の整備として、サテライトオフィス設置等補助等により、市町村部へのサテライトオフィスの整備を促進していきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>都心から多摩地域への企業誘致やスタートアップの育成環境を整えるなどの施策を強化することにより、「居住エリア」としての多摩地域から「職住近接の生活エリア」へと変貌させていくことが望ましい。さらに、地域によって企業の業種をまとめる取り組みを志向するなど、特色のある周辺都市群の構築を目指し、首都圏全体としてバランスの取れた広域街づくりに繋がればより望ましい。</p> <p>具体的な一例として、多摩ニュータウンエリアにおける「コールセンター事業」の誘致の強化を提案したい。昼の時間帯をカバーする主婦層と夕方から夜間をカバーする学生層といった労働力が豊富に見込めるため、企業側と労働者側双方にwin-winの関係が期待できる。</p> <p style="text-align: center;">御意見の概要</p>	<p>本プランでは、イノベーションの創出や地域産業の振興に向けて、多様な産業や大学等の集積と国内外の先端産業やスタートアップとの活発な融合により、世界有数のイノベーション先進エリアとしての地位を確立していくとともに、地域産業の維持・発展や、魅力ある商店街づくりについて取り組んでいくことを記載しております。また、多摩ニュータウンの再生に向けた取組として、多摩ニュータウン地域再生検討を盛り込んでおります。</p> <p>なお、都市計画区域マスタープランでは、多摩ニュータウンの将来像として、多摩センター、南大沢、若葉台、永山の地域ごとに将来像が示されております。例えば、商業や医療・福祉機能などの複合的な都市機能や外国人にも対応した生活利便施設が集積し、国際性豊かな拠点を形成することや、業務・産業、商業、教育・文化、アミューズメント、医療・福祉など多様な機能が高度に集積し、交流が生まれ、住民や地元企業など多様な主体の参画による活発なコミュニティ活動や協働のまちづくりが進展することなどが示されており、今後はこの将来像に向けて、都市づくりを進めていきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">都の考え方</p>

<p>人口減少で空き家が増えてくるため、大規模な土地の利用転換を進めていくべきである。特に、駅から離れていた団地などは、物流施設や商業施設など企業誘致を進めていき、駅前に人を集めたコンパクトシティを目指し、若い人たちが働きやすい環境を整備すべきではないかと思う。</p>	<p>多摩地域の空き家率は、2018年で10.8%となっております。空き家対策については、空き家利活用等区市町村支援事業等により、地域特性に合わせた空き家施策を推進しております。</p> <p>また、集約型のまちづくりについては、「集約型の地域構造への再編に向けた指針」の活用など、区市町村が集約型の地域構造への再編に向けて、都市計画マスタープランの改定や立地適正化計画の作成などの取組を適切に進められるよう、誘導を図ってまいります。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>多摩は自然が豊かで、優れた技術を持った企業があることが強みであると思う。</p> <p>しかし、子育てしやすい環境だと思っていたが、駅周辺だけが発展していて、保育所も少ない。よって生産年齢人口の家族が引っ越して来ないのではないか。</p>	<p>子育て支援について、待機児童解消区市町村支援事業などを実施し、保育サービスの拡充に向け、保育所の開設準備支援など、区市町村が地域の実情に応じて実施する取組を広く支援しております。</p> <p>また、多摩地域の人口の動きでは、近年、転入超過傾向もみられ、北多摩南部エリアでは、2016年から2021年にかけて生産年齢人口が2.7%増加しております。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>多摩地域は自然が豊かで、都心から離れていないが静かなところが良いところだと思う。程よい田舎感、都心では味わえない雰囲気を味わえる。家賃が安く住むにはちょうど良い場所だが、都心と比べて若い人が遊ぶ場所が少ない。</p>	<p>多摩地域は、自然に囲まれながら仕事ができる環境があり、都心へのアクセスが良いなどバランスが取れたまちとなっています。その中でも緑、水辺などの自然環境が豊富であることが強みと感じている自治体が数多くあります。また、居住空間も比較的余裕のあるものとなっております。多摩地域の多様なポテンシャルをより一層伸ばし、暮らしと自然と様々な都市機能が調和した、多摩の魅力を高めていく取組を進めてまいります。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>御意見の概要</p>	<p>都の考え方</p>
<p>大学がなかったら多摩には行か</p>	<p>多摩地域には、大学、研究機関、高い技術力を有す</p>

<p>ない。大学がなくても人を呼び込める街にすべき。</p>	<p>る中小企業等が集積しているとともに、鉄道駅の周辺などにセミナーやマッチングなどを行う創業支援機関やインキュベーション施設等が多く立地しているという特徴があります。</p> <p>こうした集積を生かすとともに、国内外の先端技術やスタートアップとの融合により、多摩を世界有数のイノベーション先進エリアへ発展させる取組を進めていきます。</p> <p>また、WEB サイトや SNS の活用等により、旅行者に対しても、多摩地域の魅力を積極的に発信していきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>西多摩（奥多摩）は未整備な道が多く、インフラが整っていない。</p>	<p>本プランでは、山間部のアクセスルートが限られる地域において、現道の拡幅や改良、ダブルルート化により、災害時の避難路等を確保することを記載しています。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>駅周辺はそれなりに栄えているが都心ほどではない。特色や知名度もないため、それぞれの街で誇れるものが必要。</p>	<p>本プランでは、地域の特色を活かした観光の振興に向けて、多摩地域ならではの豊かな自然や文化等を活用した観光資源の開発や受入環境の整備に対する取組への支援等を進めていくことを記載しています。また、多摩地域は多様な地域資源を有しており、産業振興として、それらのブランド化と魅力の発信などを進めていきます。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>地方の人、若い人は多摩のことを知らない。若者向けのイベントがあると PR になる。</p> <p style="text-align: center;">御意見の概要</p>	<p>多摩の魅力発信プロジェクトでは、多摩地域の定住人口や交流人口の増加を図るため、各市町村と連携しながら、地域資源を生かし、多摩地域が有する多様な魅力を広く発信しております。</p> <p>頂いた御意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">都の考え方</p>
<p>都庁機能の一部（1/3～1/2）</p>	<p>都では、地域ごとに行政拠点を設置しており、立川</p>

<p>を立川市に移転する。</p> <p>立川市には、都心部が有事の時に一時的に都庁機能を遂行できるスペース、システムが立飛跡地を中心に準備されている。それを活用し都庁機能の一部を移転することで、まずは、職員の転居が起こり、都人口の分散化、一部の企業の多摩移転の促進により、都心部の昼間人口の減少につながる。</p> <p>その結果、多摩地区への人口増加→多摩ニュータウンの活性化が起こり、関連する社会構造が発展していくと考えられる。</p> <p>① 商業施設の充実  ② 教育環境の変化（自然環境の活用）  ③ 移動手段の充実（鉄道網、モノレール、道路網拡充等）  ④ 少子化への歯止め etc.</p> <p>ただし、奥多摩の自然環境を破壊しての宅地造成などは避け、現状を維持しながらの都市計画の立案が不可欠になると思われる。</p> <p style="text-align: center;">御意見の概要</p>	<p>には、多摩消費生活センター、西部住宅建設事務所、北多摩北部建設事務所、立川都税事務所、多摩建築指導事務所、多摩環境事務所、立川児童相談所、多摩立川保健所、農業振興事務所、病虫害防除所などがあります。</p> <p>また、首都機能に甚大な被害が生じた場合を想定し、国は、総合的な防災基地として立川広域防災基地の整備を進めており、その中で、多摩地域の防災活動を行う拠点として東京都立川地域防災センターがあります。</p> <p>頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;">都の考え方</p>
<p>河岸段丘等による湧水とそれに</p>	<p>多摩地域は、多摩川、秋川溪谷、玉川上水、野火止</p>

伴う遊歩道の拡充と整備。

湧水の存在がまちの豊かさに通ずるものがあると感じている。青梅市から狛江市まで続く多摩川による河岸段丘とその立川崖線には、多くの湧水が存在し、「東京の名湧水57」に10箇所ほど選ばれていた。それ以外にも、多摩川の支流である浅川の周りにも多くの湧水がある。それらを利用して、八王子市では「湧水巡りマップ」を作成、小平市では湧水とそれらをつなぐ用水を取り上げ、「用水の町」をうたったり、国立市では、湧水を取り囲んで公園や水遊び場を造っている。府中市でも、国立市の湧水とをつなぐ府中用水が巡らされていたことから、現在は、その府中用水を保護しつつ遊歩道を整備し、親水公園や緑地公園をグリーンベルトで結んで、「緑の府中」を形成している。遊歩道は、昭島市の湧水でも造られていて、かつ、市の水道は全て地下水で賄っているという。

緑の少ない都心に比べ、多摩には、これらの湧水や用水をつなぐグリーンベルトがあり、市民の生活に大きく関わっている。これらを保護、拡充することで、多摩の魅力アップにつなげ、多摩への移住を促進する。そのためには、多摩に働く場所を作る、移転させることも重要な対策と思われる。

用水、国分寺崖線の湧水など、地域の住民に親しまれている水辺空間を有しており、誰もが親しみ、安らぎや潤いを感じながら生活できるまちづくりを進めていくことを本プランに記載しています。

具体的には、水辺環境の保全や玉川上水の整備・保全などの取組を盛り込んでおり、湧水の保全や清流復活など、水辺環境の保全を図っていきます。

頂いた御意見は、関係部署と共有し、今後の参考とさせていただきます。

※ 頂いた御意見につきましては、趣旨を損なわない範囲で要約をしております。